

別紙 11 選手村整備に関する資料の構成及び説明

資料 1. 選手村のゾーニング・配置・動線の考え方

選手村敷地内は大きく 3 つのゾーンに分けられます。ここではゾーニングの基本的な考え方や各ゾーンに配置される機能、選手村内での宿泊者や大会関係者等の動線について説明しています。

資料 2. アジア競技大会選手村機能内訳表

ゾーン別に機能の概要や面積、前提条件等について説明しています。過去大会等を参考に、約 15ha の敷地に 1 万人を収容する場合に必要な面積や配置条件を示しています。この資料で示す条件や数値はあくまで一例であり、最終的には後利用事業者の提案内容、協議等により決定していきます。

2-1. パブリックゾーン

2-2. インターナショナルゾーン

2-3. レジデンシャルゾーン

資料 3. トランスポートモールの配置要件・配置例

道路構造令や駅前広場計画指針等を踏まえ、バス・普通車の乗降場や、車・歩道の幅員等の配置要件を示しています。また配置例は乗降場が 1 列の場合と 2 列の場合の 2 例示しています。

3-1. 配置要件

3-2. 配置例

資料 4. アジア競技大会選手村機能説明書

上記「2.機能内訳表」に示した各機能の概要や留意点、イメージ等について過去大会を例に説明しています。

資料 5. 後利用施設の選手村活用に関する基本的な考え方

選手村として活用が想定される後利用施設（後利用施設①）と、選手村として活用できないため大会後に建設していただく後利用施設（後利用施設②）について例示しています。

なお、後利用施設①については、組織委員会により必要な選手村仕様工事を行い、選手村として一時使用します。

資料 6. 選手村配置イメージ（都市計画手続き等による用途規制の変更を前提）

上記の資料 1～5 を踏まえた名古屋競馬場跡地における配置イメージを例示しています。この配置はあくまでイメージであり、最終的には後利用事業者の提案内容、協議等により決定していきます。

資料7. モデル建物平面図

後利用施設①について、用途毎に想定されるモデル平面図（後利用施設供用開始時と大会時の選手村仕様）を例示しています。

- 7-1. 商業施設（大規模店舗型）
- 7-2. 商業施設（専門店街型）
- 7-3-1. 学校施設
- 7-3-2. 学校施設
- 7-4. 集合住宅（分譲型）
- 7-5. 集合住宅（賃貸型）、留学生宿舎・社宅
- 7-6-1. 高齢者向け住宅
- 7-6-2. 高齢者向け住宅

資料8. 後利用施設①に関する工事施工区分について

後利用施設①を選手村施設として一時使用するにあたり、後利用事業者・組織委員会がそれぞれ行う工事について、想定される施工区分の現段階での考え方を用途毎に示しています。

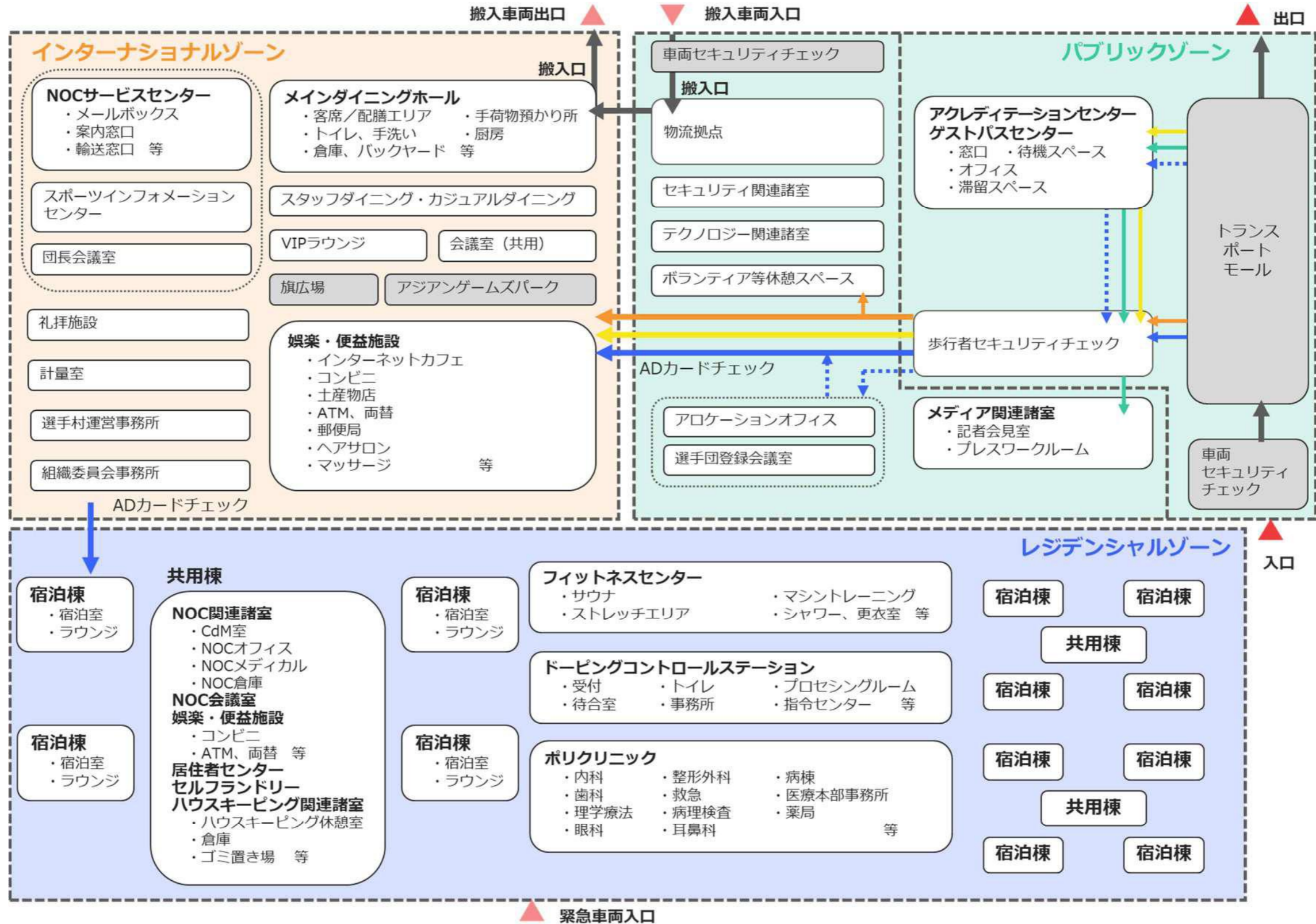
- 8-1. 工事施工区分について
- 8-2. 工事施工区分表
 - 8-2-1. 商業施設
 - 8-2-2. 学校施設
 - 8-2-3. 集合住宅(分譲型)
 - 8-2-4. 集合住宅(賃貸型)、留学生宿舎・社宅
 - 8-2-5. 高齢者向け住宅
- 8-3. 工事施工区分図
 - 8-3-1. 商業施設(大規模店舗型)
 - 8-3-2. 商業施設(専門店街型)
 - 8-3-3. 学校施設 1
 - 8-3-4. 学校施設 2
 - 8-3-5. 集合住宅(分譲型)
 - 8-3-6. 集合住宅(賃貸型)、留学生宿舎・社宅
 - 8-3-7. 高齢者向け住宅 (A,C タイプ)
 - 8-3-8. 高齢者向け住宅 (B,D タイプ)

資料9. 選手村整備スキーム フローチャート

組織委員会が想定している選手村施設の整備等に係るフローです。協定の締結や後利用施設の設計から竣工までなどを示しています。

選手村のゾーニング・配置・動線の考え方

■ 選手村機能図



■ ゾーニングの考え方

1. パブリックゾーン

ウェルカムセンターなど来村者を迎えるためのゾーン。一部、セキュリティチェックを受けなければ入れないエリアもある。

2. インターナショナルゾーン

ダイニングホール・NOCサービスセンターなど様々なサービスを提供するゾーン。

3. レジデンシャルゾーン

選手・チーム役員が宿泊するためのゾーン。宿泊者に帯同するゲストも利用可能な場合もある。

■ 選手村機能の配置・動線の考え方

1. パブリックゾーン	2. インターナショナルゾーン	3. レジデンシャルゾーン
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全ての車両・歩行者のセキュリティチェックを行うため、車両セキュリティチェック・トランスポートモール・アクレディテーションセンター及びゲストパスセンター・歩行者セキュリティチェックの順に配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アジアンゲームズパーク、メインダイニングホール、NOC サービスセンター、スポーツインフォメーションセンター、団長会議室、選手村運営事務所は、各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ フィットネスセンター、ポリクリニック、ドーピングコントロールステーションは、各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とする。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ トランスポートモールからアクレディテーションセンター・ゲストパスセンター及び歩行者セキュリティチェックへ移動する際は可能な限り歩車の分離ができる配置とすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 旗広場は、各国の旗を平等にわかりやすい位置に掲揚するため、主要な歩行者動線上に集約して配置することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ラウンジは宿泊棟内の各室からアクセスしやすい場所に配置することが望ましい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 徒歩での出入りも考慮し、歩行者セキュリティチェックは敷地入口からアクセスしやすい位置に計画することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ メインダイニングホール及びスタッフダイニング・カジュアルダイニングは、搬出入車両が寄り付きやすい配置とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 洗濯の待ち時間を有効活用することを考慮して、セルフランドリーは、可能な限り娯楽・便益施設と近接させることが望ましい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 選手団登録の手続き完了後にアロケーション（宿泊棟・室の割り当て）を行うため、選手団登録会議室とアロケーションオフィスは可能な限り近接した配置とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ VIP ラウンジ及び礼拝施設は人通りの多い通路には面していない配置とすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 居住者センター、ハウスキーピング関連諸室、セルフランドリー、娯楽・便益施設は、利便性に配慮してレジデンシャルゾーン内に複数箇所分散して設ける。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 物流拠点は、車両セキュリティチェック及び搬入車両出入口に近接させ、歩行者の妨げにならないよう、主要な敷地内通路と搬入車両動線が交錯しない配置とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ NOC サービスセンターとスポーツインフォメーションセンター、団長会議室は選手団が日常的に利用する選手村内の重要な業務機能群であるため、同じ建物内または近接した配置とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ NOC 関連諸室は、各選手団の宿泊する棟の中又は近傍に配置し、CdM（団長）室、オフィス、メディカル、倉庫は一体的に利用できる配置とする。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ メディア用のゲストパスを発行する運用を想定して、メディア関連諸室はゲストパスセンターと近接した配置が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会議室（共用）は、ゲストの利用を想定して、パブリックゾーンからアクセスしやすい配置とすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ フィットネスセンターは、宿泊棟の棟数や配置によっては、利便性を考慮して複数箇所に分散して配置することも検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ セキュリティ関連諸室は敷地外からのアクセスしやすさに配慮し、選手村外縁部に配置することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 組織委員会事務所と選手村運営事務所の行き来しやすさに配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ポリクリニックは、救急車や検査車両が寄り付くスペースを設け、公道に出やすい配置とする。他の機能と建物を共用する場合、救急搬送用の動線を確保する。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ セキュリティ関連諸室は緊急車両の駐車スペースにアクセスしやすい配置とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゲストの利用が多いと思われるカジュアルダイニングと娯楽・便益施設は近接した配置が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プライバシーへの配慮が必要なため、ドーピングコントロールステーションは、主要な動線から出入りする様子がわからない配置とする。

アジア競技大会選手村機能内訳表

選手村 機能 説明書 番号	機能 分類	機能名称	概要	面積			配置の前提条件
				単位	数量	面積	
パブリックゾーン							
P-1	屋外	車両セキュリティチェック	外部から選手村内に入る際、車両及び荷物のセキュリティチェックを行うためのスペース。	250㎡	1	450㎡	トランスポートモールの車両動線上に配置する。
P-2		トランスポートモール	選手村と空港、各競技会場等との輸送を行う拠点。車両乗降場及び車道・歩道等を含む。		200㎡		1
P-3	事務所・ 会議室	アクセデーションセンター・ゲストバスセンター	アクセデーション（AD）カードの有効化手続きや選手村に入れるADカードを保有していない人が選手村に入るためのゲストバスを発行する窓口。オフィススペースを含む。			600㎡	1階に集約して配置する。
P-4		歩行者セキュリティチェック	外部から選手村に入る際、歩行者及び手荷物の検査及びアクセデーション（AD）カードのチェックを行うためのスペース。			440㎡	1階に集約して配置する。
P-5		選手団登録会議室	大会に参加する選手団の宿泊者数の確定等の手続きのための会議（選手団登録会議（DRM））を行う室。オフィス、作業スペースを含む。DRMは選手団が選手村に最初に到着した際に実施する。			310㎡	1階に集約して配置する。
P-6		アロケーションオフィス	大会に参加する選手団の、選手村内での宿泊棟・室の割り当てを行う事務所。上記の手続きは、DRM後に実施する。			90㎡	1階に集約して配置する。
P-7		メディア関連諸室	選手村内のメディアセンター。記者会見室、プレスワークルームが含まれる。			380㎡	1階に集約して配置する。
P-8		テクノロジー関連諸室	選手村の通信・情報処理・音響・映像等に関連する設備機器、システムの保守・運用等の業務を行う諸室の総称。			600㎡	同一階に集約して配置する。
P-9		セキュリティ関連諸室	選手村内のセキュリティに関連する諸室の総称。セキュリティ関連のデータセンター等を含む。			950㎡	同一階に集約して配置する。
P-10		ボランティア等休憩スペース	選手村に勤務するボランティア、外部委託スタッフ、臨時スタッフ等が休憩に使用するスペース。			640㎡	同一階に集約して配置する。ただし、2か所まで分けて配置することも可とする。
P-11	倉庫	物流拠点	選手村で搬出入する物品の荷捌き等を行うスペース。			4,270㎡	同一階に集約して配置する。 ただし、以下のいずれかの場合でも可とする。 ・近接させ上下階に配置する ・2ヶ所まで分けて配置する 1階に配置することが望ましい。
				合計面積		8,280㎡	（屋外施設を除く）※トランスポートモールは含まず
				合計面積		8,730㎡	（屋外施設を含む）※トランスポートモールは含まず
その他							
-	屋外	Tカー用駐車場	VIPや関係者の特別輸送車両（Tカー）を待機させておくためのスペース。			1,350㎡	屋外に集約して配置する。

※面積については、建物の形状等により変更する可能性がある。

アジア競技大会選手村機能内訳表

選手村 機能 説明書 番号	機能 分類	機能名称	概要	面積			配置の前提条件
				単位	数量	面積	
インターナショナルゾーン							
I-1	屋外	アジアンゲームズパーク	入村式をはじめとするセレモニーやイベントを行う屋外広場。			750㎡	屋外に集約して配置する。
I-2		旗広場	大会旗、OCAの旗、開催国を含む約45の参加国・地域の国旗を掲揚する屋外広場。			540㎡	屋外に集約して配置する。
I-3	飲食・ 厨房	メインダイニングホール	選手村宿泊者及び許可された関係者等が、食事をとるスペース。			10,000㎡	同一階に集約して配置する。ただし、近接していれば上下階に配置することも可とするが、1階に配置することが望ましい。
I-4	事務所・ 会議室	NOCサービスセンター	各選手団への情報提供や支援を行う拠点。各種のサービス窓口（輸送、出入国、物流など）が設置される。			530㎡	同一階に集約して配置する。
I-5		スポーツインフォメーションセンター	選手団に対して、競技や練習に関する公式情報が提供されるスペース。			350㎡	同一階に集約して配置する。
I-6		団長会議室	大会期間中に定期的に開催される団長会議（Chef de Mission Meeting）を行うための専用会議室。団長会議には、各選手団の団長の他、組織委員会の各部門の責任者等、主要な関係者が出席する。			220㎡	同一階に集約して配置する。
I-7		会議室（共用）	特定の選手団や部門によらない、ゲスト等の利用を想定した共用の会議室。			160㎡	同一階に集約して配置する。
I-8		計量室	体重別階級制を採用している競技の選手が計量を行うためのスペース。			220㎡	同一階に集約して配置する。
I-9	ラウンジ	VIPラウンジ	選手村を訪れたVIPのための応接スペース。飲み物や軽食（ケータリング）の提供も行う。			100㎡	同一階に集約して配置する。
I-10	礼拝施設	礼拝施設	選手村利用者用の各種宗教に対応した礼拝施設。			430㎡	同一階に集約して配置する。
I-11	娯楽・ 便益施設	娯楽・便益施設	選手村利用者向けのレクリエーションやサービスを行う施設。想定する主な用途は以下のとおり。 インターネットカフェ、コンビニ、お土産物店、ATM・両替、郵便局、ヘアサロン 等			1,230㎡	同一階に集約して配置する。ただし、2か所まで分けて配置することも可とする。
I-12	飲食・ 厨房	スタッフダイニング・カジュアルダイニング	選手村内に勤務するスタッフ用のダイニング及び、メインダイニングホールを利用する許可のない関係者・ゲスト等が利用できるダイニング。			1,800㎡	同一階に集約して配置する。
I-13	事務所・	組織委員会事務所	選手村に常駐する組織委員会の職員が勤務する事務所。			350㎡	同一階に集約して配置する。
I-14	会議室	選手村運営事務所	選手村の運営を行う事業者等の本部事務所。			350㎡	同一階に集約して配置する。
				合計面積		15,740㎡	（屋外施設を除く）
				合計面積		17,030㎡	（屋外施設を含む）

※面積については、建物の形状等により変更する可能性がある。

アジア競技大会選手村機能内訳表

選手村 機能 説明書 番号	機能 分類	機能名称	概要	面積			配置の前提条件
				単位	数量	面積	
レジデンシャルゾーン							
R-1	宿泊	宿泊室	選手・役員が宿泊する居室。過去大会や他の国際スポーツ大会事例では、3~10名前後で1住戸に宿泊している。各住戸は、人数分のベッドを備えた寝室（シングル・ツイン等を組み合わせる）、リビング、浴室・トイレ・洗面で構成される。浴室・トイレ・洗面は4人あたりに1箇所ずつ必要となる。	10㎡/人	-	-	-
R-2		ラウンジ	休憩・交流などに使用する宿泊棟の共有スペース。	0.2㎡/人	-	-	宿泊室を配置する施設内に、収容人数に相当する規模のラウンジを配置する。
R-3	宿泊者 サービス	ハウスキーピング関連諸室 (ハウスキーピング休憩室・ハウスキーピング倉庫・ゴミ置き場)	ハウスキーピングサービス関連諸室。	380㎡	5	1,900㎡	R-3,R-4,R-5,I-11各1箇所ずつを1セットとして、同一建物に配置する。選手村全体では5セットが必要であり、各セットを各宿泊室からのアクセスを考慮して分散配置する。
R-4		セルフランドリー	選手村宿泊者の衣類等の洗濯を行うスペース。	110㎡	5	550㎡	
R-5		居住者センター	選手村運営スタッフが常駐する窓口、オフィスを設置し、宿泊者向けの各種情報提供や案内、トラブル対応等を行う場所。	100㎡	5	500㎡	
I-11	娯楽・ 便益施設	娯楽・便益施設	選手村宿泊者向けのサービスを行う施設。想定する主な用途は以下のとおり。 コンビニ、ATM・両替 等	80㎡	5	400㎡	
R-6	事務所 ・会議室	NOC関連諸室	大会に参加する選手団ごとに割り当てる諸室。CdM（団長）室、オフィス、メディカル、倉庫及び会議室を含む。	100㎡	75	7,500㎡	100㎡を1つの単位として配置する。
		NOC会議室		20㎡	23	460㎡	20㎡を1つの単位として配置する。
R-7	フィット ネス	フィットネスセンター	選手がトレーニング、コンディショニングを行うフィットネス施設。			1,950㎡	同一階に集約して配置する。ただし、2か所まで分けて配置することも可とする。
R-8	医療	ポリクリニック	選手村内の総合病院。急性疾患や怪我の初期診療と救急医療、外部医療機関との連携が主な機能。			1,420㎡	同一階に集約して配置する。ただし、近接していれば上下階に配置することも可とする。
R-9		ドーピングコントロールステーション	選手村内でドーピングコントロールを行う諸室の総称。			370㎡	同一階に集約して配置する。
				合計面積		15,050㎡	(宿泊室・ラウンジを除く)

※面積については、建物の形状等により変更する可能性がある。

トランスポートモールの配置要件・配置例

1. 配置要件

道路構造令や『駅前広場計画指針』等を踏まえ設定した、トランスポートモール（バス乗降場、普通車乗降場、車道、歩道）の配置要件を示します。トランスポートモールについては、以下の要件を基に配置してください。

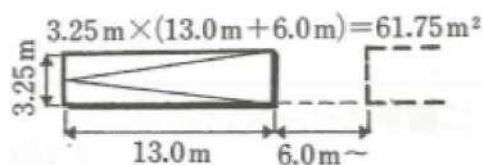
■ バス乗降場

● 必要乗降場数

乗車場	30 台
降車場	6 台
合計	36 台

● 寸法

3.25m×19m/台



出典：駅前広場計画指針

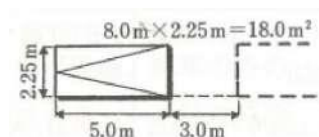
■ 普通車(Tカー)乗降場

● 必要乗降場数

乗車場	3 台
降車場	1 台
合計	4 台

● 寸法

2.25m×8m/台



出典：駅前広場計画指針

■ 車道

幅員 3m

- バスの回転半径は 12m とする。

■ 歩道

- 乗車場に隣接する歩道は滞留客スペースを考慮し、歩道幅員は 6m とする。
- 降車場に隣接する歩道は滞留客スペースが不要であるため、歩道幅員は 3.5m とする。

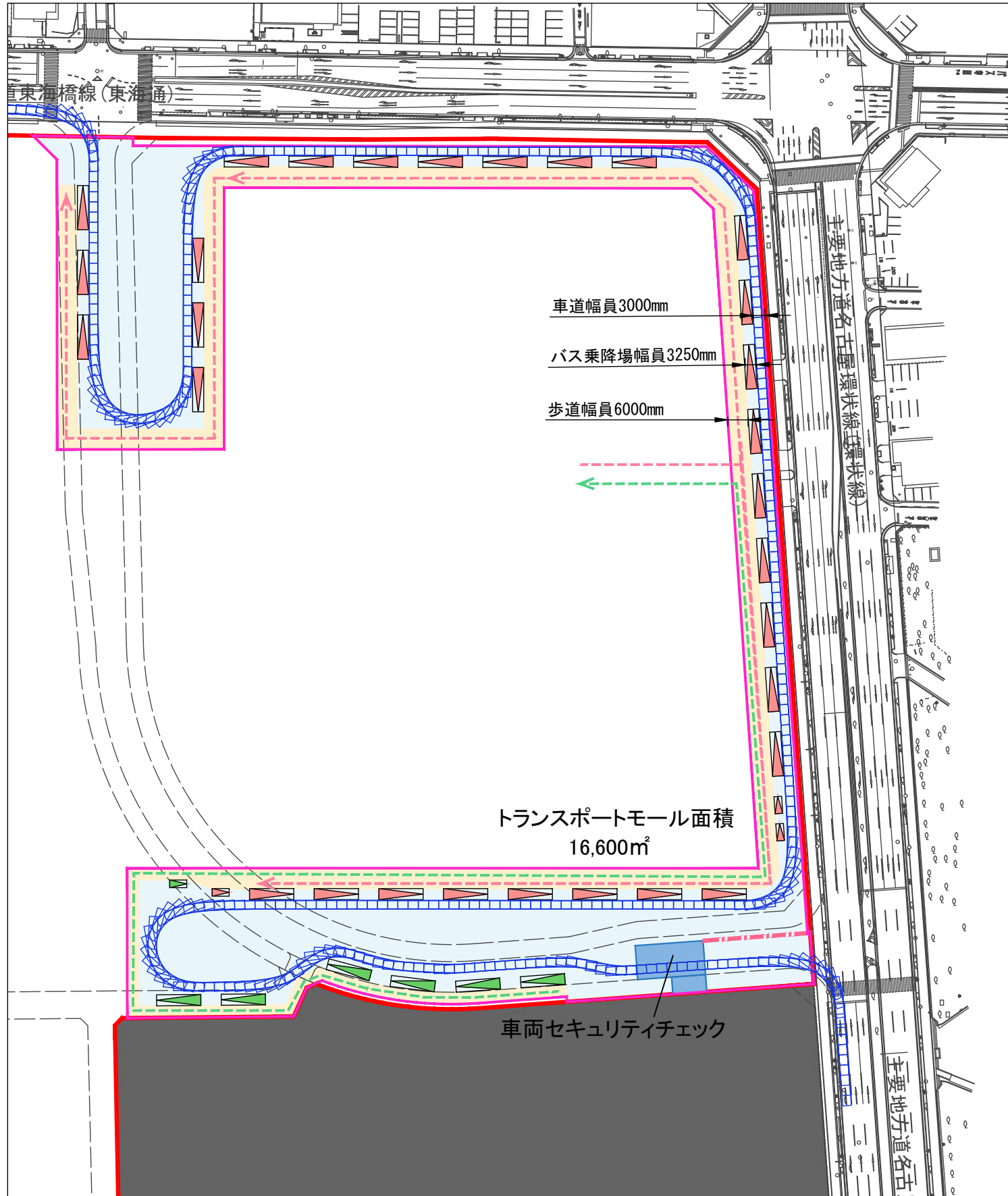
■ 留意事項

- 安全に運営するために、歩車分離することが望ましい。
- ゾーンを分断する配置にしない。

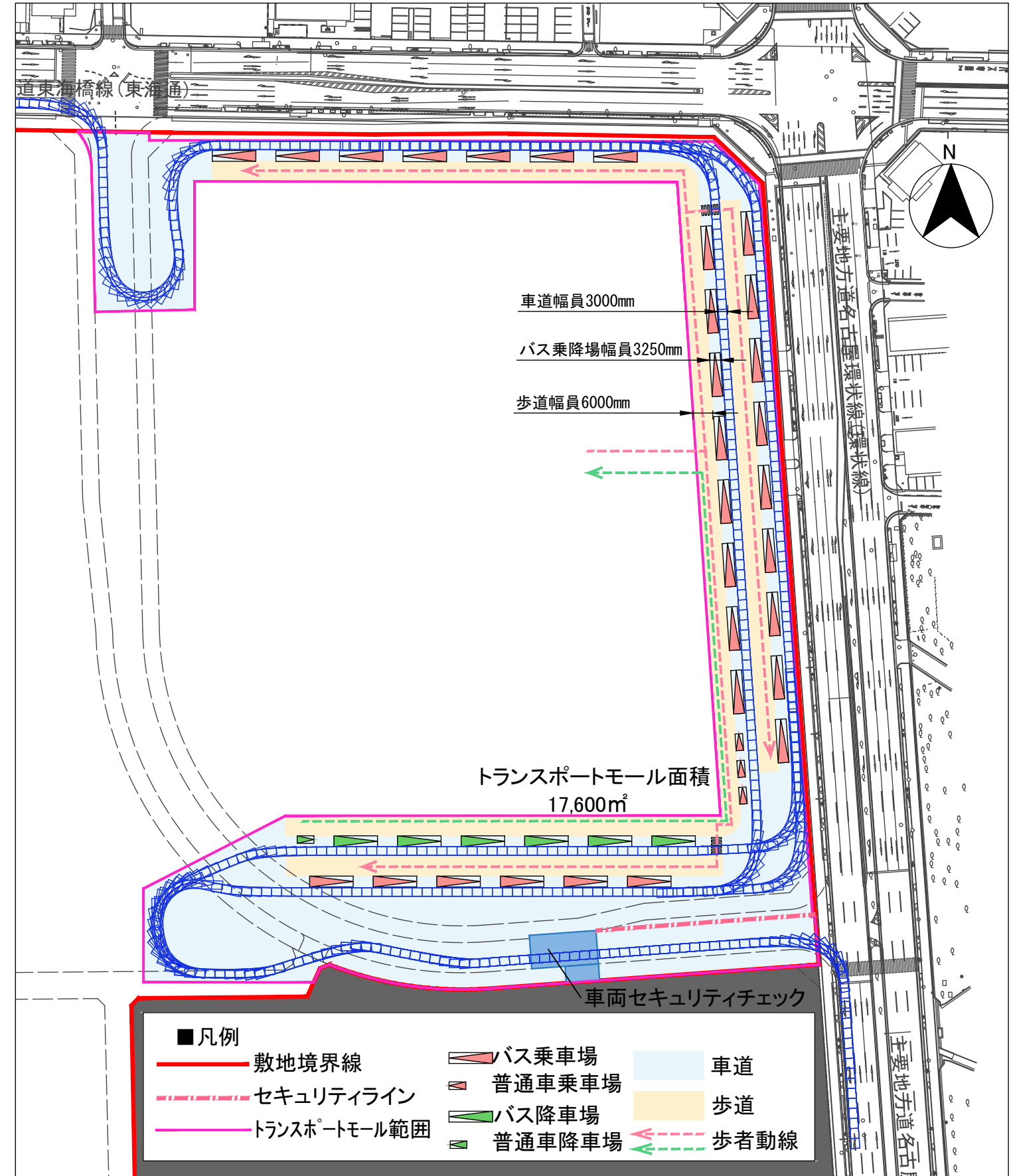
2. 配置例

配置要件を基に、トランスポートモールの配置例を資料 3-2 に示します。

<乗降場1列>



<乗降場2列>



- 凡例
- 敷地境界線
 - - - セキュリティライン
 - トランスポートモール範囲
 - ▭ バス乗車場
 - ▭ 普通車乗車場
 - ▭ バス降車場
 - ▭ 普通車降車場
 - ▭ 車道
 - ▭ 歩道
 - 歩者動線

※本資料は一例であり、実際には後利用施設①の提案を踏まえて、組織委員会がトランスポートモールの位置・規模を決定します。



アジア競技大会選手村機能説明書

アジア競技大会の選手村に必要となる各機能の概要、留意点、イメージ等について示します。

<選手村機能説明書 凡例>

番号	説明	番号	説明
①	機能を配置するゾーンを示す。	⑦	仕様や計画上の留意点を示す。
②	機能の分類を示す。	⑧	必要となる設備を示す。
③	選手村機能説明書の番号及び機能の名称を示す。	⑨	必要な最低限の仕上げの例を示す。
④	機能の概要を示す。	⑩	必要なアクセシビリティ対応を示す。
⑤	機能を配置する上での留意点を示す。	⑪	過去大会における整備状況の写真を示す。
⑥	必要となる規模を示す。		

②

①	パブリックゾーン	機能分類： 事務所・会議室										
③	P-3 アク্রেディテーションセンター・ゲストバスセンター											
④	<p>■ 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アク্রেディテーション（AD）カードの有効化手続きや選手村に入れる AD カードを保有していない人が選手村に入るためのゲストバスを発行する窓口。 ・ オフィススペースを含む。 											
⑤	<p>■ 配置の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランスポートモールで車両から降りたゲスト・メディア等が最初に訪れる場所であるため、トランスポートモールと歩行者セキュリティチェックの間に配置する。 											
⑥	<p>■ 規模</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 600 m² 											
⑦	<p>■ 仕様・計画の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繁忙時には、順番待ちの待機列スペースを設ける。 ・ ゲストと選手村宿泊者の待ち合わせスペースを設ける。 											
⑧	<p>■ 必要な設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>換気</th> <th>空調</th> <th>電源</th> <th>給排水</th> <th>有線通信</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		換気	空調	電源	給排水	有線通信	○	○	○	×	○
換気	空調	電源	給排水	有線通信								
○	○	○	×	○								
⑨	<p>■ 整備水準（仕上げ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>床</th> <th>壁</th> <th>天井</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長尺塩化ビニル床シート</td> <td>塗装</td> <td>塗装</td> </tr> </tbody> </table>		床	壁	天井	長尺塩化ビニル床シート	塗装	塗装				
床	壁	天井										
長尺塩化ビニル床シート	塗装	塗装										
⑩	<p>■ アクセシビリティ対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が通過する場所でもあるため、主要な通路には点字ブロックを敷設することを想定。 											
⑪	<p>■ イメージ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アクレディテーションセンターの例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>窓口の奥に壁で仕切られたオフィス</p> </div> </div>											

パブリックゾーン

機能分類： 屋外

P-1 車両セキュリティチェック

- 概要
 - ・ 外部から選手村内に入る際、車両及び荷物のセキュリティチェックを行うためのスペース。
- 配置の留意点
 - ・ 複数の車両に対応するため、複数のレーンが平行にレイアウトされていることを想定。
- 規模
 - ・ 450 m²（2 箇所程度）
- 仕様・計画の留意点
 - ・ 敷地入口の車路に設けたエリアの中に車を停車させ、1 台ずつ金属探知等を行う。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
×	×	○	×	○

■ イメージ



トランスポートモール前の車両セキュリティチェックの例

パブリックゾーン

機能分類： 屋外

P-2 トランスポートモール

■ 概要

- ・ 選手村と空港、各競技会場等との輸送を行う拠点。
- ・ 車両乗降場及び車道・歩道等を含む。

■ 配置の留意点

- ・ 各車両が車両セキュリティチェックを通過してから敷地内に入る配置とする。
- ・ 車両から降りた歩行者がスムーズに歩行者セキュリティチェックに移動できるよう配慮する。
- ・ トランスポートモールから歩行者セキュリティチェックへ移動する際は可能な限り歩車の分離ができる配置とすることが望ましい。

■ 規模

主要な設定条件

バス乗降場数	乗車	30
	降車	6
普通車乗降場数	乗車	3
	降車	1

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
×	×	○	×	×

■ アクセシビリティ対応

- ・ バス乗降用のプラットホームまたは可動式のスロープ等を整備する。

■ イメージ



バス乗降場のサインの例



バス乗降場の例

パブリックゾーン

機能分類： 屋外

P-2 トランスポートモール（アクセシビリティ対応）



バス乗降用プラットフォームの例



仮設スロープの例

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-3 アクレディテーションセンター・ゲストパスセンター

■ 概要

- ・ アクレディテーション（AD）カードの有効化手続きや選手村に入れる AD カードを保有していない人が選手村に入るためのゲストパスを発行する窓口。
- ・ オフィススペースを含む。

■ 配置の留意点

- ・ トランスポートモールで車両から降りたゲスト・メディア等が最初に訪れる場所であるため、トランスポートモールと歩行者セキュリティチェックの間に配置する。

■ 規模

- ・ 600 m²

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 繁忙時には、順番待ちの待機列スペースを設ける。
- ・ ゲストと選手村宿泊者の待ち合わせスペースを設ける。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	塗装

■ アクセシビリティ対応

- ・ 多くの人が通過する場所でもあるため、主要な通路には点字ブロックを敷設することを想定。

■ イメージ



アクレディテーションセンターの例



窓口の奥に壁で仕切られたオフィス

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-3 アク্রেディテーションセンター・ゲストパスセンター



待機列用スペースの例

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-4 歩行者セキュリティチェック

■ 概要

- 外部から選手村に入る際、歩行者及び手荷物の検査及び AD カードのチェックを行うためのスペース。

■ 配置の留意点

- 徒歩での出入りも考慮し、敷地入口からアクセスしやすい位置に計画することが望ましい。
- アクレディテーションセンター・ゲストパスセンターを通過後の位置、かつトランスポートモールから直接アクセスできる位置に配置する。
- 複数の歩行者に対応するため、複数のレーンが平行にレイアウトされていることを想定。

■ 規模

- 440 m²

■ 仕様・計画の留意点

- 警備の容易さを考慮して、全体を見渡せる無柱空間が望ましい。
- 内部には、歩行者用の金属探知機及び手荷物を検査する X 線検査機器を各レーンに設置するため、電源の確保が必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



歩行者用セキュリティチェックの例



歩行者用検査機器の例

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-4 歩行者セキュリティチェック



アクセディテーションカードのチェックを行う様子 1

アクセディテーションカードのチェックを行う様子 2

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-5 選手団登録会議室

■ 概要

- ・ 大会に参加する選手団の宿泊者数の確定等の手続きのための会議（選手団登録会議（DRM））を行う室。オフィス、作業スペースを含む。
- ・ DRM は選手団が選手村に最初に到着した際に実施する。

■ 配置の留意点

- ・ 歩行者セキュリティチェック通過後の位置に配置する。
- ・ DRM 以降は原則として利用されないため、DRM 室を経由せずに、選手村内へアクセスできる動線が確保できる配置とする。

■ 規模

- ・ $36 \text{ m} \times 5 + 130 \text{ m}$ （オフィス・作業スペース） = 310 m^2
- ・ アジアのゾーンごとに会議室を設けるため、5 室程度に分けて利用するが、分割のレイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 電子手続きを遅滞なく行うため、十分なコンセント設備と安定したインターネット回線が必須。
- ・ 原則全ての選手団の入村が完了してからは不要な部屋となるため、一部または全部の会議室を他の用途に転用することも想定される。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



選手団登録会議室の例

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-6 アロケーションオフィス

■ 概要

- ・ 大会に参加する選手団の、選手村内での宿泊棟・室の割り当てを行う事務所。
- ・ 上記の手続きは、DRM 後に実施する。

■ 配置の留意点

- ・ 歩行者セキュリティチェック通過後の位置に配置する。
- ・ DRM が完了し次第、宿泊棟・室の割り当てを行うため、選手団登録会議室とは可能な限り近接した配置とする。

■ 規模

- ・ 90 m²

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 電子手続きを遅滞なく行うため、十分なコンセント設備、安定したインターネット回線が必須。
- ・ 原則全ての選手団の入村が完了してからは不要な部屋となるため、他の用途に転用することも想定される。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

パブリックゾーン	機能分類： 事務所・会議室										
P-7 メディア関連諸室											
<p>■ 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 選手村内のメディアセンター。記者会見室、プレスワークルームが含まれる。 											
<p>■ 配置の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> メディア関係者はゲストパスで入場することが多いと想定されるため、ゲストパスセンターに近接した配置が望ましい。 											
<p>■ 規模</p> <ul style="list-style-type: none"> 記者会見室：180㎡（60席） プレスワークルーム：200㎡（プレス45デスク、フォト15デスク）計380㎡ 上記の機能ごとに分けて利用するが、分割のレイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。 											
<p>■ 仕様・計画の留意点</p> <p>【記者会見室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像、音響設備が必要。 整形かつ無柱空間である必要がある。 <p>【プレスワークルーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定したインターネット回線が必要。（有線・無線両方） 1席に1つ以上のコンセントを設ける。 											
<p>■ 必要な設備</p> <table border="1" data-bbox="188 1189 858 1301"> <thead> <tr> <th>換気</th> <th>空調</th> <th>電源</th> <th>給排水</th> <th>有線通信</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		換気	空調	電源	給排水	有線通信	○	○	○	×	○
換気	空調	電源	給排水	有線通信							
○	○	○	×	○							
<p>■ 整備水準（仕上げ）</p> <table border="1" data-bbox="188 1379 1347 1487"> <thead> <tr> <th>床</th> <th>壁</th> <th>天井</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長尺塩化ビニル床シート</td> <td>塗装</td> <td>岩綿吸音板</td> </tr> </tbody> </table>		床	壁	天井	長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板				
床	壁	天井									
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板									

パブリックゾーン	機能分類： 事務所・会議室			
P-8 テクノロジー関連諸室				
■ 概要				
<ul style="list-style-type: none"> 選手村の通信・情報処理・音響・映像等に関連する設備機器、システムの保守・運用等の業務を行う諸室の総称。 				
■ 配置の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> 組織委員会事務所へのアクセスが容易なことが望ましい。 				
■ 規模				
<ul style="list-style-type: none"> 600 m² 				
■ 仕様・計画の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> 精密機器を扱う室や、熱源となる機器を配置する室については、対応した空調が必要。 データセンター等、各室の機器の荷重を考慮した設計が必要。 多重電源化し、停電時は自家発電設備に切り替えられる運用とすることを想定。 避雷設備が必要。 設置する機器に応じた電源設備が必要。 				
■ 必要な設備				
換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○
■ 整備水準（仕上げ）				
床	壁	天井		
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板		

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-9 セキュリティ関連諸室

■ 概要

- 選手村内のセキュリティに関連する諸室の総称。
- セキュリティ関連のデータセンター等を含む。

■ 配置の留意点

- 治安組織と組織委員会のセキュリティ関連諸室は、室としては別個となる場合も、まとめてゾーニングし連携しやすいよう配慮する。
- 敷地外からのアクセスしやすさに配慮して、選手村外縁部に配置することが望ましい。
- 緊急車両の駐車スペースにアクセスしやすい配置とする。

■ 規模

- 950 m²

■ 仕様・計画の留意点

- データセンターの仕様については、テクノロジー関連諸室と同等の性能とする。
- 詳細な計画に際しては、治安組織と協議の上必要な仕様を定める。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



警察詰所入口



警察詰所内掲示物

パブリックゾーン

機能分類： 事務所・会議室

P-10 ボランティア等休憩スペース

■ 概要

- 選手村に勤務するボランティア、外部委託スタッフ、臨時スタッフ等が休憩に使用するスペース。

■ 配置の留意点

- 個々人のアクセス可能なゾーンが異なるため、誰でも利用できるパブリックゾーンに配置することを想定。

■ 規模

- 640 m²

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ アクセシビリティ対応

- ボランティア等の中にも車いす等の利用者が含まれる可能性に配慮して、少なくとも1箇所の休憩スペースには車いすでもアクセスできるよう、階段等がある場合は、法・条例に則った傾斜路やエレベーターを併設するなどの対応を行うことが望ましい。

■ イメージ



休憩スペースの例

パブリックゾーン

機能分類： 倉庫

P-11 物流拠点

■ 概要

- ・ 選手村で搬出入する物品の荷捌き等を行うスペース。

■ 配置の留意点

- ・ 車両の出入りが多いため、敷地外縁部に配置する。
- ・ 車両セキュリティチェック及び搬入車両出入口に近接した配置とする。
- ・ 歩行者の妨げにならないよう、主要な敷地内通路と動線が交錯しない配置とする。

■ 規模

- ・ 4,270 m²

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 屋外に大型車両が転回できるスペースを設ける。
- ・ 倉庫間の通路は、運搬用の小型の車両が走行できる仕様とすることを想定。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	×	○	×	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
素地	素地	素地

■ イメージ



物流拠点の例

インターナショナルゾーン

機能分類： 屋外

I-1 アジアンゲームズパーク

■ 概要

- ・ 入村式をはじめとするセレモニーやイベントを行う屋外広場。

■ 配置の留意点

- ・ 各宿泊棟から訪れやすく、わかりやすい配置とする。
- ・ セレモニー、イベント開催時には多くの人が集まることが想定されるが、敷地内通路の通行の妨げにならないよう、アジアンゲームズパークを経由せずに移動できる通路を設ける、十分な広さを取るなどの配慮が必要。
- ・ セレモニー・イベント時の音響が宿泊室で休んでいる選手の妨げとならないよう、レジデンシャルゾーンとは分離したレイアウトとすることが望ましい。
- ・ イベント出演者の待機スペースや演出用具の置き場など、一時的に屋根のあるスペースが必要となることも考えられるため、周囲には小型テント（5m×5m 程度）が数基設置できる程度のスペースを見込んでおくことを想定。

■ 規模

- ・ 750 m²

■ 仕様・計画の留意点

- ・ セレモニーやイベントを行うため、大型モニター、音響、照明、通信設備が必要。
- ・ セレモニーの際に使用するフラッグポールが必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
×	×	○	×	○

■ イメージ



ひな壇のある広場の例



仮設のスロープでアクセシビリティ対応した例

国際ゾーン

機能分類： 屋外

I-1 アジアンゲームズパーク



イベントの様子 1 (ひな壇奥がフラッグポール)



イベントの様子 2



セレモニーの様子



広場と敷地内通路の位置関係の例

インターナショナルゾーン

機能分類： 屋外

I-2 旗広場

■ 概要

- ・ 大会旗、OCA の旗、開催国を含む約 45 の参加国・地域の国旗を掲揚する屋外広場。

■ 配置の留意点

- ・ 大会のシンボルとなるスペースのため、わかりやすく、主要な歩行者動線上に配置することが望ましい。
- ・ 各国の旗を平等にわかりやすい位置に掲揚するため、主要な歩行者動線上に集約して配置することが望ましい。

■ 規模

- ・ 540 m²

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
×	×	×	×	×

■ イメージ



敷地内通路沿いに設けられた旗広場の例 1



敷地内通路沿いに設けられた旗広場の例 2



旗広場の例

インターナショナルゾーン

機能分類： 飲食・厨房

I-3 メインダイニングホール

■ 概要

- ・ 選手村宿泊者及び許可された関係者等が、食事をとるスペース。
- ・ 食券を購入したゲスト等も利用が可能な場合もある。

■ 配置の留意点

- ・ 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とすることが望ましい。
- ・ 衛生面及び盗難等への対策として、入口に手荷物預かり所を設ける。
- ・ 厨房及び倉庫、バックヤードと客席／配膳エリアは同じ建物とし、動線や衛生面に配慮する。
- ・ トイレ（手洗い）を併設する。
- ・ 搬出入車両が寄り付きやすい配置とする。

■ 規模

- ・ 3,500 席、10,000 m²
（客席／配膳エリア、厨房、手荷物預かり所、倉庫、バックヤード、トイレ含む）

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 客席・配膳エリアは利用者が配膳台や座席を見渡しやすいよう、無柱空間とすることが望ましい。
- ・ 十分な換気・空調設備が必要。
- ・ 厨房排水に対応した排水設備が必要。
- ・ 床面の仕上げはビニルシートなど清掃性に配慮したものとする。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	塗装

■ イメージ



大型テントに布製のダクトを利用した例



配膳台の周辺には待機スペースを確保する

国際ゾーン

機能分類： 飲食・厨房

I-3 メインダイニングホール



空調機を屋外に設置した例



客席と厨房を間仕切り壁・カーテンで区切った例



屋外に仮設のトイレキャビンを設置した例



Nutrition Kiosk（栄養相談をする窓口）の例



ダイニング入口 手荷物預かり所の例



ダイニング鳥瞰写真 右手前に搬出入口

インターナショナルゾーン

機能分類： 飲食・厨房

I-3 メインダイニングホール（アクセシビリティ対応）



スロープを設置した配膳台の例 1



スロープを設置した配膳台の例 2



車いす・立位両方に対応した手洗器の例



車いすでも通ることのできる通路の例



ダイニング入口にスロープを設置した例



仮設トイレの例（左・車いす対応）

インターナショナルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-4 NOC サービスセンター

■ 概要

- ・ 各選手団への情報提供や支援を行う拠点。
- ・ 輸送、出入国、物流等の各種のサービス窓口が設置される。

■ 配置の留意点

- ・ 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置が望ましい。
- ・ NOC サービスセンターとスポーツインフォメーションセンター、団長会議室は同じ建物内または近接した配置とする。

■ 規模

- ・ 530 m²
- ・ NOC サービスセンター用の会議室、倉庫、窓口、メールボックス、待合スペースやラウンジを含む

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 十分な数のコンセント設備と安定したインターネット回線が必要。
- ・ 24 時間対応可能な運用とする。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



NOC サービスセンター入口



各サービス窓口の例

国際ゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-4 NOC サービスセンター



メールボックスと案内窓口の例（国名は国旗で表示）



メールボックスの例（国名はラベルで表示）



ラウンジの例

インターナショナルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-5 スポーツインフォメーションセンター

■ 概要

- 選手団に対して、競技や練習に関する公式情報が提供されるスペース。

■ 配置の留意点

- 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とすることが望ましい。
- NOC サービスセンターとスポーツインフォメーションセンター、団長会議室は同じ建物内または近接した配置とする。

■ 規模

- 350 m²

■ 仕様・計画の留意点

- 十分な数のコンセントと安定したインターネット回線が必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



スポーツインフォメーションセンターの例

競技別窓口のある
スポーツインフォメーションセンターの例

国際ゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-5 スポーツインフォメーションセンター



結果等を掲示するスペース



窓口の例

インターナショナルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-6 団長会議室

■ 概要

- ・ 大会期間中に定期的で開催される団長会議（Chef de Mission Meeting）を行うための専用会議室。
- ・ 団長会議には、各選手団の団長の他、組織委員会の各部門の責任者等、主要な関係者が出席する。

■ 配置の留意点

- ・ 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とすることが望ましい。
- ・ NOC サービスセンターとスポーツインフォメーションセンター、団長会議室は同じ建物内または近接した配置とする。

■ 規模

- ・ 220 m²
- ・ 各選手団からは1名ずつの出席を想定する。

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 音響設備、プロジェクター設備が必要。
- ・ 整形の無柱空間が望ましい。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



団長会議室入口・受付



団長会議室の例

インターナショナルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-7 会議室（共用）

■ 概要

- ・ 特定の選手団や部門によらない、ゲスト等の利用を想定した共用の会議室。
- ・ 予約制による時間貸しを想定する。

■ 配置の留意点

- ・ ゲストの利用を想定するため、パブリックゾーンからアクセスしやすい位置にあることが望ましい。

■ 規模

- ・ 160 m²
- ・ 3室程度に分けて利用するが、分割のレイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 複数の会議室を可動間仕切り等で分割または連結して、多様な人数に対応できる仕様が望ましいが、隣接する室同士の音もれ対策が必要。
- ・ ゲストが利用できるインターネット回線と複数箇所のコンセントが必要。
- ・ プロジェクターを設置することを想定。
- ・ 可能な限り無柱空間とすることが望ましい。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



会議室の例

インターナショナルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-8 計量室

■ 概要

- ・ 体重別階級制を採用している競技の選手が計量を行うためのスペース。

■ 配置の留意点

- ・ トイレと近接した配置が望ましい。

■ 規模

- ・ 220 m²
- ・ 3室程度に分けて利用するが、分割のレイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 男女別とする。
- ・ 廊下等から室内の様子がわからない仕様にする。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	塗装

インターナショナルゾーン

機能分類： ラウンジ

I-9 VIP ラウンジ

■ 概要

- ・ 選手村を訪れた VIP のための応接スペース。
- ・ 飲み物や軽食（ケータリング）の提供も行う。

■ 配置の留意点

- ・ エレベーター等からの歩行距離が短く、アクセスしやすい配置が望ましい。
- ・ 窓からアジアゲームズパーク、旗広場等の景色を眺めることができる配置が望ましい。
- ・ 人通りの多い通路に面した配置は望ましくない。

■ 規模

- ・ 100 m²
- ・ 3 室程度に分けて利用するが、分割のレイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 近くに VIP 用のトイレを設けることが望ましい。
- ・ 競技を観戦できるよう、TV を設ける。
- ・ 空調・換気を完備し、快適性に特に配慮する。
- ・ 仕上げは他の事務室等よりもグレードが高いものを想定。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
タイルカーペット	ビニルクロス	ビニルクロス

■ イメージ



VIP ラウンジの例 1



VIP ラウンジ（競技会場）の例 2

インターナショナルゾーン

機能分類： ラウンジ

I-9 VIP ラウンジ



VIP ラウンジ（競技会場）のケータリングスペース



VIP 用トイレの例

インターナショナルゾーン

機能分類： 礼拝施設

I-10 礼拝施設

■ 概要

- ・ 選手村利用者用の各種宗教に対応した礼拝施設。

■ 配置の留意点

- ・ 人通りの多い通路には面していない配置とすることが望ましい。

■ 規模

- ・ 複数室で計 430 m²程度設け、複数の宗教に対応できるよう配慮する。
- ・ 複数に分けて利用するが、分割のレイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意点

- ・ イスラム教に対応した礼拝施設は、出入口付近に小浄設備と下足入れを設ける。男女の祈祷スペースを分けることを想定。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



イスラム教に対応した礼拝施設の例



小浄設備

インターナショナルゾーン・レジデンシャルゾーン	機能分類： 娯楽・便益施設
-------------------------	---------------

I-11 娯楽・便益施設

■ 概要

- ・ 選手村利用者向けのレクリエーションやサービスを行う施設。

■ 配置の留意点

- ・ 主にインターナショナルゾーンに集約して配置するが、コンビニや ATM 等はレジデンシャルゾーンにも分散配置する。分散させる箇所数は 5 とし、宿泊棟の棟数・配置を考慮して配置する。

■ 規模 ※以下は想定される機能の一例

【インターナショナルゾーン】 計 1,230 m²

- ・ コンビニ
- ・ インターネットカフェ
- ・ 土産物店
- ・ ATM、両替
- ・ ビリヤード
- ・ ヘアサロン
- ・ クリーニング
- ・ マッサージ
- ・ タクシー配車サービス
- ・ 花屋
- ・ 郵便局

等

【レジデンシャルゾーン】 80 m²×5 箇所 計 400 m²

- ・ コンビニ
- ・ ATM、両替

等

■ 仕様・計画の留意点

- ・ インターネットカフェ：有線のインターネット回線が使用できる仕様とする。
- ・ コンビニ：簡易な流し及び冷凍・冷蔵庫を設けるため、給排水設備が必要。
- ・ ヘアサロン：給排水及び給湯設備が必要。床は清掃性に配慮してビニルシート等とする。（ドライカットのみ対応とする場合は不要）
- ・ クリーニング：選手村に設置するのは受付窓口のみとし、クリーニング作業は選手村外で行う。
- ・ マッサージ：簡易な流しを設けるため、給排水設備が必要。
- ・ 花屋：給排水設備を設け、床は清掃性に配慮してビニルシート等とする。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	上記による	上記による

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

I-11 娯楽・便益施設

■ イメージ



コンビニ



インターネットカフェ



ビリヤード



お土産物店



ATM・両替



ヘアサロン



タクシー配車サービス (左)

インターナショナルゾーン

機能分類： 飲食・厨房

I-12 スタッフダイニング・カジュアルダイニング

■ 概要

- ・ スタッフダイニングは、選手村内に勤務するスタッフ用のダイニング。
- ・ カジュアルダイニングは、メインダイニングホールを利用する許可のない関係者・ゲスト等が利用できるダイニングで、開催都市ならではの食事等が楽しめる。

■ 配置の留意点

- ・ ゲストの利用が多いと思われるカジュアルダイニングと娯楽・便益施設は近接した配置が望ましい。
- ・ スタッフダイニングとカジュアルダイニングを隣接させることで、厨房やバックヤードの共有が可能となり、効率的な配置となる。
- ・ 搬出入車両が寄り付きやすい配置とする。

■ 規模

- ・ 合計 1,800 m²
(スタッフダイニング 370 席、カジュアルダイニング 270 席)

■ 仕様・計画の留意点

- ・ それぞれに専用のトイレ・手洗い場所を設けることを想定。
- ・ 厨房排水に対応した排水設備が必要。
- ・ 十分な換気・空調設備が必要。
- ・ 床は清掃性に配慮した仕上げが望ましい。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	塗装

インターナショナルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-13 組織委員会事務所

■ 概要

- 選手村に常駐する組織委員会の職員が勤務する事務所。

■ 配置の留意点

- 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とすることが望ましい。
- 倉庫を運用や配置に合わせて事務所内または事務所に近接した位置に配置する。
- 選手村運営事務所との行き来しやすさに配慮する。

■ 規模

- 310 m² + 40 m² (倉庫) = 350 m²
- 分割して利用するが、レイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意点

- 設備・仕様は一般の事務所相当とし、コンセント設備、安定したインターネット回線が必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

インターナショナルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

I-14 選手村運営事務所

■ 概要

- ・ 選手村の運営を行う事業者等の本部事務所。
- ・ 組織委員会の事務所とは異なる。

■ 配置の留意点

- ・ 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とすることが望ましい。
- ・ 倉庫を運用や配置に合わせて事務所内または事務所に近接した位置に配置する。
- ・ 組織委員会運営事務所との行き来しやすさに配慮する。

■ 規模

- ・ $310 \text{ m}^2 + 40 \text{ m}^2$ (倉庫) = 350 m^2
- ・ 分割して利用するが、レイアウトについては組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 設備・仕様は一般の事務所相当とし、安定したインターネット回線が必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

レジデンシャルゾーン	機能分類： 宿泊			
R-1 宿泊室				
■ 概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選手・役員が宿泊する居室。 ・ 過去大会や他の国際スポーツ大会事例では、3～10名前後で1住戸に宿泊している。 ・ 各住戸は、人数分のベッドを備えた寝室（シングル・ツイン等を組み合わせる）、リビング、浴室・トイレ・洗面で構成される。 ・ 浴室・トイレ・洗面は4人あたりに1箇所ずつ必要となる。 				
■ 配置の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国・地域間の関係性に配慮した上で、選手団ごとにまとまった配置とする。 				
■ 規模				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 10,000人（目標値）×10㎡/人 = 100,000㎡ 				
■ 仕様・計画の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 玄関から直接中が見えないレイアウトとすることが望ましい。 ・ 浴室には浴槽があることが望ましい。 ・ ユニット内に人数分の収納スペースを設ける。 ・ 競技の映像が視聴できるTVを設けることが望ましい。 ・ 寝室・リビングには空調と十分な数のコンセントを備え、住戸内でもスムーズに接続できるインターネット環境を整備する。 ・ 住戸に宿泊する人数に合わせて、4人あたりに1箇所の浴室・トイレ・洗面を設ける。 				
■ 必要な設備				
換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	×
■ 整備水準（仕上げ）				
床	壁	天井		
フローリング	塗装	岩綿吸音板		

レジデンシャルゾーン

機能分類： 宿泊

R-1 宿泊室

■ イメージ



寝室 (ツイン)



リビング



シャワー・トイレ・洗面

レジデンシャルゾーン

機能分類： 宿泊

R-2 ラウンジ

■ 概要

- ・ 休憩・交流などに使用する宿泊棟の共有スペース。

■ 配置の留意点

- ・ 宿泊棟内の各室からアクセスしやすい場所に配置することが望ましい。
- ・ ラウンジの滞留スペースが、階段・エレベーターまでの動線を塞ぐ配置とならないよう配慮する。

■ 規模

- ・ 10,000 人（目標値）×0.2 m²/人=2,000 m²

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 組織委員会や選手団からの連絡事項等が掲示できるスペースや、情報端末、緊急連絡・通報が可能な設備を設ける。
- ・ TV を視聴できる設備及び通信設備を設ける。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



ソファでくつろぐ例



ラウンジ内の図書コーナー

レジデンシャルゾーン

機能分類： 宿泊

R-2 ラウンジ



飲み物等の提供を行っている例

レジデンシャルゾーン	機能分類： 宿泊者サービス			
R-3 ハウスキーピング関連諸室				
<p>■ 概要</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊棟のハウスキーピングサービス関連諸室。 ・ ハウスキーピング休憩室・ハウスキーピング倉庫・ゴミ置き場を含む。 				
<p>■ 配置の留意点</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性に配慮してレジデンシャルゾーン内に 5 箇所分散して設ける。 ・ サービス関連諸室のため、宿泊者と動線が交錯しないよう配慮する。 ・ ゴミ置き場は外部へ直接出入りできる配置とする。 				
<p>■ 規模</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 380 m²（休憩室：70 m²、倉庫：140 m²、ゴミ置き場：170 m²）× 5 箇所 計 1,900 m² ・ 1 箇所ごとに上記の 3 つの機能のスペースを分けて利用するが、分割のレイアウトについては組織委員会が決めるため、提案を求めない。 				
<p>■ 仕様・計画の留意点</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩室には空調・換気設備を設ける。 ・ ゴミ置き場は清掃性に配慮した仕上げとし、近くに水栓を設けて流水で清掃できるように計画する。 				
<p>■ 必要な設備</p>				
換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	×
<p>■ 整備水準（仕上げ）</p>				
床	壁	天井		
長尺塩化ビニル床シート	塗装	化粧石膏ボード（休憩室）／ 素地（倉庫・ゴミ置き場）		

レジデンシャルゾーン

機能分類： 宿泊者サービス

R-4 セルフランドリー

■ 概要

- 選手村宿泊者の衣類等の洗濯を行うスペース。

■ 配置の留意点

- 利便性に配慮してレジデンシャルゾーン内に 5 箇所分散して設ける。
- 待ち時間を有効活用しやすいよう、セルフランドリーは、可能な限り娯楽・便益施設と近接させることが望ましい。

■ 規模

- 110 m²×5 箇所 = 550 m²

■ 仕様・計画の留意点

- 全ての洗濯機・乾燥機に給排水・電源設備が必要。
- 空調・換気設備を設ける。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	塗装

■ イメージ



セルフランドリーの例

レジデンシャルゾーン

機能分類： 宿泊者サービス

R-5 居住者センター

■ 概要

- 選手村運営スタッフが常駐する窓口、オフィスを設置し、宿泊者向けの各種情報提供や案内、トラブル対応等を行う場所。

■ 配置の留意点

- 利便性に配慮してレジデンシャルゾーン内に 5 箇所分散して設ける。

■ 規模

- 100 m²×5 箇所 = 500 m²
(窓口・待合スペース・オフィススペース含む)

■ 仕様・計画の留意点

- 組織委員会や選手団からの連絡事項等が掲示できるスペースや、情報端末を設けるため、コンセント設備や安定したインターネット回線が必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	×	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	化粧石膏ボード

■ イメージ



窓口の例 1



窓口の例 2

レジデンシャルゾーン	機能分類： 事務所・会議室													
R-6 NOC 関連諸室・NOC 会議室														
<p>■ 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大会に参加する選手団ごとに割り当てる諸室。 ・ CdM 室（団長室）、オフィス、メディカル、倉庫及び会議室を含む。 														
<p>■ 配置の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用しやすいよう、各選手団の宿泊する棟の中又は近傍に配置し、CdM 室、オフィス、メディカル、倉庫は一体的に利用できる配置とする。 ・ NOC 関連諸室・NOC 会議室のみを集約した配置は、選手が立ち寄りづらいため望ましくない。 														
<p>■ 規模</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NOC 関連諸室（CdM 室・NOC オフィス・NOC メディカル・NOC 倉庫）： 100 m²×75 = 7,500 m² ・ NOC 会議室： 20 m²×23 = 460 m² 														
<p>■ 仕様・計画の留意点</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空調・換気設備が必要。 <p>【CdM 室・オフィス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業に支障がないよう安定したインターネット回線、十分なコンセント設備が必要。 <p>【メディカル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッサージ用のベッドを配置し、その周囲を動けるスペースを確保する。 ・ 医療機器を使用するための十分な数のコンセントが必要。 ・ 医師の執務室（個室）があることが望ましい。 ・ 手洗いや簡単な洗い物ができる流しがあることが望ましい。 <p>【会議室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボード、可動式の椅子・机を備え、プロジェクターを設置することを想定。 														
<p>■ 必要な設備</p>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="188 1400 323 1458">換気</th> <th data-bbox="323 1400 459 1458">空調</th> <th data-bbox="459 1400 595 1458">電源</th> <th data-bbox="595 1400 730 1458">給排水</th> <th data-bbox="730 1400 858 1458">有線通信</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="188 1458 323 1518">○</td> <td data-bbox="323 1458 459 1518">○</td> <td data-bbox="459 1458 595 1518">○</td> <td data-bbox="595 1458 730 1518">×</td> <td data-bbox="730 1458 858 1518">○</td> </tr> </tbody> </table>					換気	空調	電源	給排水	有線通信	○	○	○	×	○
換気	空調	電源	給排水	有線通信										
○	○	○	×	○										
<p>■ 整備水準（仕上げ）</p>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="188 1556 576 1653">床</th> <th data-bbox="576 1556 963 1653">壁</th> <th data-bbox="963 1556 1347 1653">天井</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="188 1653 576 1711">長尺塩化ビニル床シート</td> <td data-bbox="576 1653 963 1711">塗装</td> <td data-bbox="963 1653 1347 1711">岩綿吸音板</td> </tr> </tbody> </table>					床	壁	天井	長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板				
床	壁	天井												
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板												

レジデンシャルゾーン

機能分類： 事務所・会議室

R-6 NOC 関連諸室・NOC 会議室

■ イメージ



NOC オフィスの例



仮設間仕切りによる NOC オフィスの例（奥）



NOC メディカル マッサージ室の例



NOC メディカル 医師室の例

レジデンシャルゾーン

機能分類： フィットネス

R-7 フィットネスセンター

■ 概要

- 選手がトレーニング、コンディショニングを行うフィットネス施設。

■ 配置の留意点

- 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とする。宿泊棟の棟数や配置によっては、利便性を考慮して複数箇所に分散して配置することも検討する。

■ 規模

- サウナ：25 m²
- シャワー、更衣室：220 m²
- マシントレーニング、ストレッチエリア：1,705 m² 計 1,950 m²
- 上記の機能ごとに分けて利用するが、分割のレイアウトは組織委員会が定めるため、提案を求めない。

■ 仕様・計画の留意、

- サウナ、シャワー・更衣室は男女別とする。
- フォームの確認等のため、マシントレーニング、ストレッチエリアの壁面の一部に鏡を設けることが望ましい。
- サウナ、シャワー、更衣室（手洗い）に給排水設備が必要。
- 空調・換気設備が必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	×

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



マシントレーニングの例



サウナの例

レジデンシャルゾーン

機能分類： 医療

R-8 ポリクリニック

■ 概要

- ・ 選手村内の総合病院。
- ・ 急性疾患や怪我の初期診療と救急医療、外部医療機関との連携が主な機能。

■ 配置の留意点

- ・ 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とする。
- ・ 救急車や検査車両が寄り付くスペースを設け、公道に出やすい配置とする。
- ・ 他の機能と建物を共用する場合、救急搬送用の動線を確保する。

■ 規模

- ・ 1,420 m²

■ 仕様・計画の留意点

- ・ 空調・換気設備、十分な数のコンセント設備が必要。

■ 必要な設備

換気	空調	電源	給排水	有線通信
○	○	○	○	○

■ 整備水準（仕上げ）

床	壁	天井
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板

■ イメージ



メディカルオフィス（問診）



メディカルオフィス（ベッド）

レジデンシャルゾーン

機能分類： 医療

R-8 ポリクリニック



歯科



眼科



薬剤倉庫



マッサージ室



理学療法



救急車の寄り付きスペース

レジデンシャルゾーン	機能分類： 医療										
R-9 ドーピングコントロールステーション											
<p>■ 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 選手村内でドーピングコントロールを行う諸室の総称。 											
<p>■ 配置の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 各宿泊棟からアクセスしやすく、わかりやすい配置とする。 厳しいセキュリティ管理が必要なため、他の諸室とは厳密に区画できる配置とし、出入口でアクレディテーションチェックを行う。 プライバシーへの配慮が必要なため、ドーピングコントロールステーションは、主要な動線から出入りする様子がわからない配置とする。 											
<p>■ 規模</p> <ul style="list-style-type: none"> 370 m² 											
<p>■ 仕様・計画の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調・換気設備が必要。 トイレ、手洗い、流しを設けるため、給排水設備が必要。 最新の WADA のガイドラインに基づいた計画とする。 外部から中の様子が見えないよう配慮する。 各室ともに鍵がかけられる仕様とする。 											
<p>■ 必要な設備</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>換気</th> <th>空調</th> <th>電源</th> <th>給排水</th> <th>有線通信</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		換気	空調	電源	給排水	有線通信	○	○	○	○	○
換気	空調	電源	給排水	有線通信							
○	○	○	○	○							
<p>■ 整備水準（仕上げ）</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>床</th> <th>壁</th> <th>天井</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長尺塩化ビニル床シート</td> <td>塗装</td> <td>岩綿吸音板</td> </tr> </tbody> </table>		床	壁	天井	長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板				
床	壁	天井									
長尺塩化ビニル床シート	塗装	岩綿吸音板									

■ 後利用施設の選手村活用に関する基本的な考え方について

後利用施設①の選手村一時使用については、後利用施設①と選手村施設の用途や規模が類似する場合、後利用事業者が整備した後利用施設①を選手村施設として出来る限りそのまま活用することを想定しております。なお、後利用施設①と選手村施設のレイアウトや仕様が異なる場合は、後利用事業者側で躯体の状態まで整備していただき、組織委員会側で選手村施設としての内装等の整備を行うことを想定しております。（詳細は、「資料8. 後利用施設①に関する工事施工区分について」を参照）

また、選手村として活用できない後利用施設については、アジア競技大会後に整備していただくことになります。

「第20回アジア競技大会選手村後利用基本構想」で示す主な後利用施設について、選手村活用に関する基本的な考え方を示します。

選手村として活用が想定される後利用施設の例		
ゾーン※1	後利用施設	基本的な考え方
賑わい	商業施設 (スーパー・ホームセンター等の大規模店舗型)	・大規模な空間を確保できる場合は、規模の大きなメインダイニングや物流拠点等として活用することが考えられます。 ・大規模な空間に仮設の間仕切りを設置し、事務所・会議室や娯楽・便益施設等の機能として活用することが考えられます。 【参照：資料7-1. モデル建物平面図（商業施設（大規模店舗型））】
	商業施設 (ショッピングモール等の専門店街型)	・配置する選手村機能の規模が合う場合は、テナントの境壁を利用し、事務所・会議室や娯楽・便益施設等の機能として活用することが考えられます。 【参照：資料7-2. モデル建物平面図（商業施設（専門店街型））】
	レストラン・カフェ	・機能が類似していることから、スタッフダイニング・カジュアルダイニングとして活用することが考えられます。
	フィットネスクラブ	・機能が類似していることから、フィットネスセンターとして活用することが考えられます。
	体育館・アリーナ	・機能が類似していることから、フィットネスセンターとして活用することが考えられます。
	イベントスペース（屋外）	・配置や規模によっては、アジアゲームズパークとして活用することが考えられます。
学び	学校施設	教室棟 ・機能が類似していることから、事務所・会議室等の機能として活用することが考えられます。 ・学びゾーンは、レジデンシャルゾーンになる可能性が高いため、仮設の間仕切りを設置し、ポリクリニックやドーピングコントロールステーションとして活用することが考えられます。【参照：資料7-3. モデル建物平面図（学校施設）】
		体育館 ・機能が類似していることから、フィットネスセンターとして活用することが考えられます。 【参照：資料7-3. モデル建物平面図（学校施設）】
	留学生宿舍・社宅 研修・合宿施設	・住戸部分は、機能が類似していることから、宿泊室として活用することが考えられます。 ・住戸以外の部分は、宿泊室に付帯するラウンジや、事務所・会議室等の機能として活用することが考えられます。 【参照：資料7-5. モデル建物平面図（集合住宅（賃貸型）、留学生宿舍・社宅）】
住まい	集合住宅（分譲・賃貸） 高齢者向け住宅	・住戸部分は、機能が類似していることから、宿泊室として活用することが考えられます。 ・住戸以外の部分は、宿泊室に付帯するラウンジや、事務所・会議室等の機能として活用することが考えられます。 【参照：資料7-4. モデル建物平面図（集合住宅（分譲型））、資料7-5. 集合住宅（賃貸型）、留学生宿舍・社宅、資料7-6. 高齢者向け住宅】

選手村として活用できないため、大会後に建設していただきたい後利用施設の例			
ゾーン※1	後利用施設	基本的な考え方	
賑わい	商業施設	立体駐車場	・選手村として活用することが難しいため、大会時点では建設せず、用地は仮設施設を整備するための敷地等として活用することが望ましいと考えます。
住まい	戸建て住宅（分譲）		・まとまった戸数を確保することが難しいことや収容効率が低くなるため、大会時点では建設せず、用地は仮設施設を整備するための敷地等として活用することが望ましいと考えます。
—	後利用施設①の附属施設	駐車場、駐輪場、ごみ置場等	・選手村として活用することが難しいため、大会時点では建設せず、用地は仮設施設を整備するための敷地等として活用することが望ましいと考えます。

※1 「第20回アジア競技大会選手村後利用基本構想」における土地利用イメージにおけるゾーンを示す。

「資料1 選手村ゾーニング・配置・動線の考え方」、「資料2 アジア競技大会選手村機能内訳表」を基に、選手村配置計画の例を示します。なお、後利用施設の施設計画を制限するものではありません。

